

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 耳鼻咽喉科では、「嚥下障害に対する手術（嚥下機能改善手術、誤嚥防止術）症例の検討」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

呑み込みの障害（嚥下障害）に対する治療はリハビリテーションが基本になりますが、改善しない場合に手術が非常に有効なことがあります。嚥下機能改善手術は嚥下を改善させる手術ですが、誤嚥しても自分で吐き出すことができ、肺炎をあまり起こさない方が適応になります。一方、誤嚥防止術は呼吸の通路と食事の通路を完全に分離することにより誤嚥を完全に止める手術です。誤嚥しても気づかない人や誤嚥物を吐き出すことができない人で肺炎を繰り返す人が適応です。誤嚥による肺炎から開放され経口摂取ができる人もいます。欠点は永久的に気管切開からの呼吸となり声も失うことです。これらの手術の適応と限界についてはまだ十分に解明されておりません。これまでに手術を受けられた方の効果や合併症を診療記録から検討することにより、より正確な対象者を選択することが可能となります。

対象となる方

本院で嚥下障害に対する手術を受けた方

対象調査期間

2009年6月1日から2019年7月31日

研究期間

2019年9月6日 ～ 2021年3月31日（研究終了日）

利用する診療情報

年齢、性別、傷病名、手術名、嚥下内視鏡検査所見、嚥下造影検査所見、摂食能力（食事量や食事形態などから評価します）、気道感染の状況（胸部レントゲン画像所見、胸部CT画像所見、血液検査結果（白血球数、C反応性蛋白）、手術侵襲（手術時間、出血量）、手術合併症

研究機関の名称：熊本機能病院 耳鼻咽喉科

研究責任者氏名：鮫島靖浩

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

お問い合わせ先

熊本機能病院 耳鼻咽喉科 部長 鮫島靖浩

T E L : 096-345-8111(内線 3123)、 F A X : 096-345-8188